



2大特集

Feature

① **GLOBAL SQUAREオープン!**

② **学内で英語のスキルアップ!**

特集 1

GLOBAL SQUAREオープン!

2019年4月、キャンパス内の異文化交流の拠点としてGLOBAL SQUAREをオープンしました。ランチや友達とのおしゃべり、自習など思い思いに過ごすことのできる交流スペースのほか、多目的ラウンジでは海外留学支援や国際交流、異文化体験を目的とした説明会やイベント等も開催予定です。留学生と日本人学生の交流や学びあいの場として、ぜひご活用ください。

多目的ラウンジ



自由にくつろげる
交流スペース

English Chat Timeや本学が実施する留学プログラム説明会等を開催するほか、学生企画による異文化交流イベント等(イベント助成あり!)で利用することができます。

**GLOBAL SQUAREで
イベントを開催しよう!**

留学生とこんな交流をしたい!
成蹊生に異文化を紹介したい!
など、イベントやワークショップを企画してみませんか?
個人またはグループでの企画もOK。
イベント企画助成もあります
(上限3万円)。詳細は中面で。



《国際交流イベント企画助成制度》による

イベント企画を募集します!

国際教育センターでは、大学国際交流会館の共用施設（ラウンジ、キッチン、和室）やGLOBAL SQUAREを活用した学生の主体的な国際交流活動を促進するため、国際交流イベント企画助成制度を設けています。ついては、以下の要領で申請を受け付けます。



応募資格	大学の学部生および大学院生（個人または団体）
応募要件	成蹊大学生（個人、団体は問わない）が企画したイベントであり、留学生との交流や留学生の文化体験を目的として実施するイベントであること。 （例）★留学生の日本文化体験・・・七夕パーティ、書道体験、日本食の調理など ★留学生との交流や国際理解・・・ハロウィンパーティ、クリスマスパーティ、留学生による自国の文化や料理紹介など
助成金について	●大学国際交流会館の共用施設（ラウンジ、キッチン、和室）やGLOBAL SQUAREを利用して実施するイベントに対し、イベント実施にかかる必要経費の全額もしくは一部を助成する。（助成金の上限は3万円とする。） ●助成対象経費は、原則としてイベント実施に必要な備品・消耗品費、飲食代等とする。 ●当助成金にて購入した備品等については、イベント終了後は国際教育センターが所有するものとする。
応募方法	計画書【本学所定様式】を国際教育センター国際課に提出のこと。
募集期間	【2019年度前期実施分】 2019年4月1日～5月20日 【2019年度後期実施分】 2019年7月1日～20日
審査	国際教育センター国際課において、提出された計画書をもとに審査する。 ※当助成制度の趣旨に沿っているか、目的達成の見込み、大学が実施するイベントとして適切なものであるか、イベント開催時期のバランス等を勘案し、採用可否および助成金額を決定する。
審査結果の通知および助成手続き	審査結果（採用可否）および助成手続きについては、下記時期にイベント企画責任者宛（ポータルサイトおよび学籍番号アドレス）に通知する。 【2019年度前期実施分】 2019年6月上旬 【2019年度後期実施分】 2019年9月中旬
留意事項	イベント企画責任者は、イベント終了後1週間以内に下記書類を国際教育センター国際課に提出のこと。 ●報告書【本学所定様式】 ●領収証（領収証貼付用紙【本学所定様式】に貼付けのこと） ●参加者名簿（形式自由） ●イベントの様子がわかる写真データ（2～3点程度）

特集 2

学内で英語のスキルアップ!



英語力向上や英語をもっと話せるようになりたいときは、海外留学が効果的ですが、国際コース、English Chat Time、IELTSセミナーなど学内にも英語力アップのためのヒントがあります。英語学習や留学準備等にぜひ参考にしてみてください。

グローバルな英語コミュニケーション

経済学部 教授 小林 めぐみ 先生

現在世界の四分の1の人口がなんらかの形で英語を使っているといわれています。英語学習の留学先も、アメリカやイギリスなどの英語圏だけでなく、マレーシアやフィリピンなどに多様化していますし、YouTubeをはじめとして世界各地から発信される様々な「英語たち」(World Englishes)に触れる機会も格段に増えてきました。今回は、こういった多様な英語の音声を学ぶヒントをお伝えします。

まず、多様な英語があるとはいっても、どの国でも原則アメリカ英語やイギリス英語がお手本となります。ですから、基礎的な練習には、アメリカ英語やイギリス英語を使った音読やシャドーイングをお勧めします。普段の授業等で使っている教材を活用し、音声を実際に聞いて自分でも声に出して音を再生してみましょう。語彙力向上や文法のおさらいも必要ですが、問題集を解いているだけでは使える英語はなかなか身につけません。音を聞いて自分でもマネしてみる（さらに文字を眼で見て音と合体させる）、この単純な練習が実は英語上達の近道なのです。

多様な英語の発音に対しても同じように「慣れ」(familiarity)が大事です。最初は聞きづらいと思っても、聞いているうちに慣れてくるので焦りは禁物。また地域特有の英語の特徴をあらかじめ確認しておくのもいいでしょう。例えばシンガポールへ行くことが決まったら、ぜひシンガポールの英語や言語事情をネットなどで検索してみてください。面白い情報がたくさんあるはずです。（国際コースには世界の多様な英語を取り上げたWorld Englishesという授業もあります！）そして一番大事なことはオープンな姿勢でいることです。相手の発音がなまっていてわからないとか、自分の発音に自信がない等と否定的にならないこと。いろんな英語があって大変!と思うかもしれませんが、それも世界の現実です。“Variety is the spice of life”というように、多様性は人生を豊かにしてくれます。いろいろな地域に友達を作れるといいですね。そうすれば、発音の違いや訛りにとらわれず、わからないときは確かめる、互いに配慮する、といったコミュニケーションの基本をごく自然な形で実行できると思います。成蹊大学には様々な国から留学生が来ています。学内の国際交流の場もぜひ活用してください。

Effective study in English and Encourage to attend ECT sessions

国際教育センター国際交流担当 黒松 まり 先生

The first step to effectively learn English is to clarify your English language learning goals. For example, is it your goal to communicate sufficiently when traveling to an English-speaking country? Is it to communicate with customers in your part-time job? Or is it to get a specific score on the TOEIC test for job hunting? Once you have made your English language learning goal clear, the next step is to think of a study plan to achieve your goal.

In general, it is beneficial to study basic vocabulary or phrases related to your goal. Buy a vocabulary or idiom book related to what you want to do with English. Study not only the Japanese translation of the word but also the English definition. In addition, when you study the vocabulary or phrases say the words out loud and practice the pronunciation of each word in English (not the katakana pronunciation). It is also beneficial to review/study basic grammar. By studying grammar, you are able to sound comprehensible and fluent. Always remember to review, review, review!!!

Finally, I highly encourage you to attend an ENGLISH CHAT TIME (ECT) session. An ECT session would give you an opportunity to practice your pronunciation and new words, phrases, and grammar you have studied by speaking in English with an international student Teacher's Assistant and other English learners. It will give you the chance to practice not only your speaking skills but your listening skills as well. Unlike the College English courses, ECT sessions will also give you the opportunity to listen to English used by young people. Remember, it is okay to make mistakes at the ECT sessions. If it is difficult to understand other speakers it is okay to say, “Can you repeat that again?” It is not good to pretend you understand when you did not. Doing so leads to communication breakdown. Coming to an ECT session will lead to greater confidence in your English abilities. We have amazing TAs, so we highly encourage you to attend the ECT sessions!

留学を実現するために必要なこと

日本スタディ・アブロード・ファンデーション(JSAF) 宮元 育美 氏

こんにちは、成蹊大学JSAF留学カウンセリング担当の宮元です。今までにたくさんの成蹊大学生を世界に送り出してまいりました。

成蹊大学では、在学中に充実した短期語学研修プログラムや中長期語学留学また学部（JSAF）プログラムなどが準備されており、多くの貴重な留学体験が学生を待っています。短期プログラムや語学留学に関しては、語学の習得が目的のため、自分の英語レベル、ペースに合わせて学習していくことができます。ただし成蹊大学が奨励している交換留学やJSAFプログラム（学部）になると事前に最低限の英語力が必要になってきます。このプログラムは、日本の大学で授業を受講するのと同じように、海外の現地大学生と肩を並べて、学問を習得するという留学になります。そのため、厳しい出願基準が2つあります。一つはGPA（大学での平均成績）で非常に重要な条件となります。もう一つの条件が、IELTSまたはTOEFLという公認英語試験スコアとなります。

JSAFはIELTS共同所有団体オーストラリアIDPとの提携により2016年度から公式テストセンターになりました。IELTSは、世界レベルの基準で英語力をはかる4技能テストです。JSAFでは、成蹊大学をはじめ多くの国内大学でテストを実施、同時にIELTSで高スコアを取るためのさまざまなアドバイスを行っています。

IELTSテストの克服で重要なのは、自分にどれだけの学習時間があるかをまず知ること、そしてその目標を達成するための具体的な課題を見つけることです。（たとえば、Listening力を1.0アップ、Writing力を0.5アップなど）現在の自分の力を知り、どれだけの期間にどのスキルをどれだけ伸ばさないといけないかの課題を見つけることです。スコア取得のためにできるだけ早くIELTSを受検されることを強くおすすめします。成蹊大学生の英語レベルであれば、基礎力は十分にあります。その知識をどう使い、どうアウトプットしていくかが大きな課題となります。特にWritingとSpeakingパートにおいては、テスト対策が必要です。まずは、目標達成のためにJSAF企画のIELTSセミナー、留学説明会、個別相談に参加して、私たちと一緒に計画をたてて、かけがえのない留学体験を実現させましょう！



新規協定校の紹介

新たにメンフィス大学 (アメリカ) と長期留学協定を締結し、本学の留学協定校は13か国29大学になりました。



アメリカ

メンフィス大学

University of Memphis

URL <http://www.memphis.edu/>

学校概要・プログラム内容

メンフィス大学は1912年創立の総合研究型大学で、アメリカ国内および世界各国から約20,000人の学生が学んでいます。幅広い分野の授業が提供されており、本学からの協定留学生は現地学生とともに学部専門科目を中心に学びます。また、メンフィス大学ではバスケットボール、ベースボール、アメリカンフットボール、アイスホッケー、ラクロス、陸上などのスポーツが盛んなので、競技への参加や観戦を気軽に楽しむことができます。

周辺環境

キャンパスのあるメンフィス市はテネシー州最大都市で、エルヴィス・プレスリーなど数多くの有名なミュージシャンを輩出した「音楽の聖地」としても有名で、町中の至る所でブルース、ソウル、カントリーなどの様々なジャンルの音楽を耳にすることができます。また、テネシー州には全米で最も人気がある国立公園のひとつであるグレートスモーキー山脈国立公園など、自然環境に恵まれた国立公園や州立公園が数多く所在し、アメリカ南部の雄大な自然に触れることができます。



◆派遣期間

1年(8月下旬～5月上旬)

◆派遣人数(予定)

1名

◆出願期間

派遣開始前年度の11月頃

◆学内出願資格

- 留学開始時点で学部もしくは大学院在籍1年以上の者
- 通算GPA2.5以上
- いずれかの語学基準を満たすこと
TOEFL iBT 61/IELTS5.5

◆留学先学部受入基準

TOEFL iBT 61/IELTS6.0

※留学開始前の所定の時期までに上記の基準に満たない場合、留学開始学期(8～12月)は、ブリッジング・プログラム(無料)に参加し、英語習得のための授業を中心に受講します。
(一部の学部科目も受講可)

2019年度前期受入れ 協定留学生の紹介

海外の協定校3校より5名の協定留学生を受入れました。



オーストラリア

マードック大学

ニーヴ ハーグリヴス
ニコラス カラサヴァス
エリザベス テトロー

中国

華東政法大学

ロ ショウコウ
上海交通大学
ジャン ジェユウ